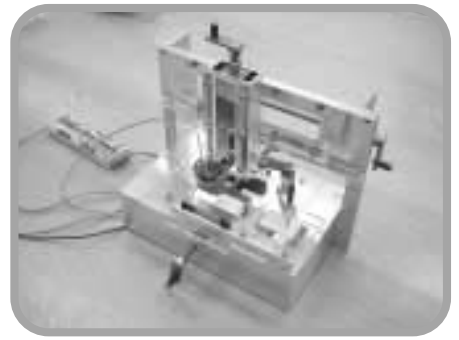


ものをつくる楽しさを学ぶ

「ものづくり教室」

ハンコ彫り機の製作



足立工業高校では、地域の子どもたちにも工業技術の感性を理解してほしいと願って、「ものづくり」を中心とした都立学校公開講座《※》を毎年2教室開催しています。今年も、夏休み中の子どもたち(小学5年～中学生)を対象に、「ハンコ彫り機の製作」と題して、実施されました(同時開催、「やさしい子供鋳芸教室」)。

4日・4回、計15時間かけて組み立てていくハンコ彫り機の原型は、工業高校の生徒が授業で使うフライス盤(工作機械)



です。20センチ四方ほどのこのハンコ彫り機は、小さいながらも彫る能力は本物のマシンそのもの。子どもたちが組み立てているのは、指導にあたった足立工業高校の松岡明弘先生らが、三ヶ月以上かけて、すべてを手作りで仕上げた精度の高いさまざまな部品です。ハンコ彫り機を組み立てていく過程を通して、工業高校が蓄積している匠(たくみ)の技に、参加した子どもたちが触れることができた講座でした。

親子で参加の、上松レナさん(小学6年生)とお母さんにお話を伺いました。足立工業高校の「ものづくり教室」は、毎年、男子より女子の参加が多く、レナさんもこの教室を楽しみにしていた一人です。レナさんは、「出来上がったときがいちばんうれしい」といいます。完成したハンコ彫り機は、学校に持って行って夏休みの自由研究にするそうです。お母さんは、「いっしょにつくりながら、子どもといいコミュニケーションができます」と、“大満足”。夏休みの確かな成果が得られた「ものづくり教室」でした。

※ 学校が持っている優れた人材や施設設備などの教育機能を、地域の人たち(原則成人)に開放する東京都教育庁社会教育課の主催事業。すべての都立学校で年間500を越える講座を実施している。都立学校が地域の教育力の一翼を担う意味で、今回のように児童・生徒を対象とした講座もある。

東京都子ども読書推進フォーラム

読書の秋は、新宿に行こう!

東京都子ども読書推進フォーラム



東京都教育委員会は、平成15年3月に「東京都子ども読書活動推進計画」を策定し、積極的に子ども読書活動の推進に取り組んでいます。

都民の皆さんに子どもの読書活動の意義や重要性について、理解と関心を深めていただくためのフォーラムを開催します。

【日時】10月25日(土)13時～17時

10月26日(日)13時30分～15時

【場所】都庁「都民ホール」、「都政ギャラリー」

【主催】東京都教育委員会、(財)出版文化産業振興財団

【内容】シンポジウム、おはなし会、科学あそび、パネル及び資料展示(バリアフリー絵本)ほか。

①10月25日「シンポジウム」

基調講演／柳田邦男氏(ノンフィクション作家)

パネル・ディスカッション／小峰紀雄氏(日本児童図書出版協会会長)、杉本卓氏(千葉工業大学助教授)ほか。

シンボルマーク・標語の発表及び表彰式。抽選で288人。

②10月26日「親子で楽しめる講演会」

川端誠氏(絵本作家) 抽選で288人。

申し込みは、10月10日(必着)までに往復はがき(1枚4人まで、1枚につき1催事のみ有効)に、催事名(①または②)・参加者全員の氏名・代表者の住所・電話を書き、〒163-8001教育庁社会教育課子ども読書担当へ。